様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	国際理容美容専門学校
設置者名	学校法人国際共立学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
理容美容専門課程	理容科	夜・通信	1,410 時間	80×2 ＝ 160 時間	
	美容科	夜・通信	1,470 時間	80×2 ＝ 160 時間	
	ビジネス美容科	夜・通信	1,455 時間	80×2 ＝ 160 時間	
	ビューティアーティスト科	夜・通信	1,089 時間	80×2 ＝ 160 時間	

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HP にて授業科目一覧を公開。授業科目一覧中、実務経験のある教員による授業科目に○をつけて表記
（掲載：https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	国際理容美容専門学校
設置者名	学校法人国際共立学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

HP にて理事名簿を公開
（掲載：https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学教授	令和３年６月１日～令和６年５月 31 日	教育理念・方針、教職員研修等に対する専門的知見
非常勤	理容店経営	令和３年６月１日～令和６年５月 31 日	理美容業界の現状に関する専門的知見
非常勤	元東京都職員	令和３年６月１日～令和６年５月 31 日	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際理容美容専門学校
設置者名	学校法人国際共立学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）
(理容科、美容科、ビジネス美容科、ビューティアーティスト科〔いずれも２年制〕)

【作成について】

各学科長及び学内指名者により編成される教員教育課程委員会において毎年度、授業科目の設定、講義内容及び関連法規等の検証・検討に基づき、各授業内容を担当する教員により作成している。

教員内規(シラバス作成要領)において、授業科目名、時間数、担当教員名、到達目標及び教育目標(科目の狙い)、授業内容、成績評価方法、テキストに関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。

【時期について】

翌年度の授業計画は 10～12 月に担当教員が作成し、3 月の理事会において、次年度事業計画の一部として承認されることで決定する。

これを受けて、翌年度のシラバスを HP 上に公開する。

授業計画書の公表方法	掲載:https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/)

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学則並びに学則施行細則において成績評価、履修、卒業要件について規定している。

各学科で定める授業科目の試験(レポート、課題提出含む)により成績評価を行う。

【参考】

学則第 10 条(成績評価)

授業科目の成績評価は、学年末において、前･後期末に行う試験、実習の成果並びに履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が所定時数に達しない者は、その科目について評価を受けることができない。

２　前項の所定時数とは、講義･演習科目においては授業時数の 3 分の 2、実習科目においては 5 分の４以上とする。

３　学習成績の評価は以下のとおりとする。

目標達成の程度	評定		点数による評価	単位認定
きわめて高い程度に達成	A	秀	100～90 点	認定
特に高い程度に達成	B	優	89～80 点	〃
高い程度に達成	C	良	79～70 点	〃
おおむね達成	D	可	69～60 点	〃
達成不十分	E	不可	59 点以下	非認定

学則施行細則第 10 条(成績の評価･評定)

成績の評価･評定は、定期試験等及び臨時試験の成績と課題･レポート等の評価並びに平素の学習活動全般を対象に総合的に行うものとする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

各科目の学業成績は、定期試験の評価点及び一学期に履修した授業科目総単位数の平均数値である GPA（Grade Point Average）により測定している。

このことにより学校独自奨学金支給対象、学業優秀者の表彰候補者の選定などを行っている。

上記成績評価方法については、学則及び学則施行細則を HP 上に公開するほか、全学生に配布する学生便覧にも明記している。

また、これらのことについて入学後のオリエンテーションにおいて各学科の授業科目の概要とともに概要説明をしている。

GPA は下記計算式により算定する。

$$\text{ＧＰＡ} = \frac{\text{（履修科目単位数×ポイント）の合計}}{\text{履修した授業科目の総単位数}}$$

点数	100 ～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点	59 点以下
成績評価	A	B	C	D	E
ポイント	4.0	3.0	2.0	1.0	0

GPA 算定に際し、次の各号に該当する授業科目は対象外とする。

(1) 入学前に他の専門学校や大学、短期大学において履修した授業科目

(2) 本校在学中に他の大学、短期大学において履修した授業科目

(3) 本校への編入学等に伴い、本校での学修と同等以上の学力があると認定した授業科目。

(4) 前各号に掲げるもののほか、教科課程における集中授業。

客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載:https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/)

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

履修認定に関する方針として、学校の設置目的（理容・美容に関する知識技能の修得、社会人としての教養及び近代的感覚の会得）に基づき、各学科のディプロマポリシー(DP)を定めている。

また、具体的な卒業要件として下記のとおり学則及び学則施行細則に明記している。

これらの規定については HP 上での公開並びに学生便覧への記載等により学生にも周知している。

【参考】

学則第 22 条（卒業・修了の認定）

第 10 条に定める授業科目の成績評価に基づき、課程修了の認定を行う。

学則施行細則第 12 条(進級･卒業の判定)

進級判定は、学則第 8 条第 1 項に定める教育課程において各学年で履修すべき全科目の試験に合格し、かつ学生納付金を全て納めている学生･生徒を対象に判定会議において学校長が決定する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載:https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/)

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	国際理容美容専門学校
設置者名	学校法人国際共立学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年６月上旬に最新情報を HP に公開している https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

２．教育活動に係る情報
①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	理容美容専門課程	理容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間／単位	480 単位時間/単位	300 単位時間/単位	1,230 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人	76人	0人	8人	12人	20人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照
学修支援等
（概要） 講義系科目については全科目共通で前・後期各半期で最低２回、学生の履修内容確認のため小テストを実施する。科目によってはそれ以上の回数を実施する。 演習系科目については課題提出が適切と認められる場合、筆記試験に代え、課題提出により成績評価を行う。 実習系科目は国家試験課題の評価項目に準じ、要素技術の到達度確認を授業中に行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 （100%）	0人 （ 0%）	21人 （ 100%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 理容サロン			
（就職指導内容） 教科課目である理容実習（実務実習）において実際に理容サロンの補助業務に携わる。この実習を通して就職したいサロンの具体的イメージを固める。			

そのうえで、理容サロンの人事担当者を招き「企業サロン説明会」を実施し、各サロンと学生のマッチングを行う。すべての学生に対して個別面談を行い、効果的な就職活動を支援する。
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師国家試験受験資格、ビジネス能力検定、aJesthe 認定フェイシャルエステティシャン、JNEC ネイリスト技能検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	3 人	5.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、学科長による個別面談の実施に加え、各種原因によるメンタルストレスまたは疾病の可能性に対して、学内相談窓口と外部メンタルクリニックとが連携し、プロによる迅速なカウンセリングを目指した支援体制も構築している。スクールカウンセラーと契約し、相談できる体制を整えている。 また、経済的困難を抱える学生にたいしては、各種奨学金制度を整備している。 進路変更希望者については、担任が本人と面談し、希望・適性について聞き取りを行ったうえで、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	理容美容専門課程	美容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,010 単位時間／単位	420 単位時間/単位	315 単位時間/単位	1,275 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
320 人	230 人	1 人	11 人	16 人	27 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
講義系科目については全科目共通で前・後期各半期で最低２回、学生の履修内容確認のため小テストを実施する。科目によってはそれ以上の回数を実施する。
演習系科目については課題提出が適切と認められる場合、筆記試験に代え、課題提出により成績評価を行う。
実習系科目は国家試験課題の評価項目に準じ、要素技術の到達度確認を授業中に行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
78 人（100%）	0 人（ 0%）	78 人（ 100%）	0 人（ 0%）

（主な就職、業界等）
美容サロン、ブライダルサロン、ヘアメイクアーティスト事務所

（就職指導内容）
教科課目である美容実習（実務実習）において実際に美容サロンの補助業務に携わる。この実習を通して就職したいサロンの具体的イメージを固める。
そのうえで、美容サロンの人事担当者を招き「企業サロン説明会」を実施し、各サロンと学生のマッチングを行う。すべての学生に対して個別面談を行い、効果的な就職活動を支援する。

（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家試験受験資格、ビジネス能力検定、JNA ジェルネイル技能検定、ヘアケアマイスターミドルコース
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
211 人	8 人	3.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、学科長による個別面談の実施に加え、各種原因によるメンタルストレスまたは疾病の可能性に対して、学内相談窓口と外部メンタルクリニックとが連携し、プロによる迅速なカウンセリングを目指した支援体制も構築している。スクールカウンセラーと契約し、相談できる体制を整えている。 また、経済的困難を抱える学生にたいしては、各種奨学金制度を整備している。 進路変更希望者については、担任が本人と面談し、希望・適性について聞き取りを行ったうえで、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	理容美容専門課程	ビジネス美容科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,100 単位時間／単位	495 単位時間/単位	195 単位時間/単位	1,410 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	32人	1人	3人	14人	17人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
講義系科目については全科目共通で前・後期各半期で最低２回、学生の履修内容確認のため小テストを実施する。科目によってはそれ以上の回数を実施する。
演習系科目については課題提出が適切と認められる場合、筆記試験に代え、課題提出により成績評価を行う。
実習系科目は国家試験課題の評価項目に準じ、要素技術の到達度確認を授業中に行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
17人（100%）	0人（ 0%）	17人（ 100%）	0人（ 0%）

（主な就職、業界等）
エステティックサロン、ブライダルエステサロン、ホテル内エステ・スパサロン

（就職指導内容）
教科課目である実務実習において実際にエステティックサロンの補助業務に携わる。
この実習を通して就職したいサロンの具体的イメージを固める。
そのうえで、サロン等の人事担当者を招き「企業サロン説明会」を実施し、各サロンと学生のマッチングを行う。
すべての学生に対して個別面談を行い、効果的な就職活動を支援する。

（主な学修成果（資格・検定等）） 短期大学士、CIDESCO 国際ディプロマ、CIDESCO アロマディプロマ、aJesthe 認定エステティシャン、AEA 上級認定エステティシャン、JEO エステティシャンセンター試験受験資格、JNEC ジェルネイル技能検定、ビジネス能力検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37 人	3 人	8.1%
（中途退学の主な理由） 妊娠、進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、学科長による個別面談の実施に加え、各種原因によるメンタルストレスまたは疾病の可能性に対して、学内相談窓口と外部メンタルクリニックとが連携し、プロによる迅速なカウンセリングを目指した支援体制も構築している。スクールカウンセラーと契約し、相談できる体制を整えている。 また、経済的困難を抱える学生にたいしては、各種奨学金制度を整備している。 進路変更希望者については、担任が本人と面談し、希望・適性について聞き取りを行ったうえで、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
衛生	理容美容専門課程	ビューティ アーティスト科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,710 単位時間／単位	210 単位時間 /単位	390 単位時間 /単位	1,110 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人	100人	0人	3人	12人	15人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の１．を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の３．を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の４．を参照

学修支援等

（概要）
講義系科目については全科目共通で前・後期各半期で最低２回、学生の履修内容確認のため小テストを実施する。科目によってはそれ以上の回数を実施する。
演習系科目については課題提出が適切と認められる場合、筆記試験に代え、課題提出により成績評価を行う。
実習系科目は国家試験課題の評価項目に準じ、要素技術の到達度確認を授業中に行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
32人 （100%）	1人 （ 3%）	31人 （ 97%）	0人 （ 0%）

（主な就職、業界等）
美容サロン、ネイルサロン、ヘアメイクアーティスト事務所

（就職指導内容）
教科課目である美容実習（学外実習）において実際に美容サロンやネイルサロン等の補助業務に携わる。
この実習を通して就職を志望する分野と具体的企業のイメージを固めることを促している。
そのうえで、サロン等の人事担当者を招き「企業サロン説明会」を実施し、各サロン

と学生のマッチングを行う。 すべての学生に対して個別面談を行い、効果的な就職活動を支援する。
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家試験受験資格、JNA ジェルネイル技能検定、JNEC ネイリスト技能検定、ブライズビューティマスタージュニア、メイクセラピー検定、色彩検定、接客心理検定、ビジネス能力検定
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
78 人	5 人	6.5%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、学科長による個別面談の実施に加え、各種原因によるメンタルストレスまたは疾病の可能性に対して、学内相談窓口と外部メンタルクリニックとが連携し、プロによる迅速なカウンセリングを目指した支援体制も構築している。スクールカウンセラーと契約し、相談できる体制を整えている。 また、経済的困難を抱える学生にたいしては、各種奨学金制度を整備している。 進路変更希望者については、担任が本人と面談し、希望・適性について聞き取りを行ったうえで、希望する進路に向けての進学先紹介等を行っている。		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考 （任意記載事項）
理容科	100,000 円	600,000 円	884,000 円	
美容科	100,000 円	600,000 円	884,000 円	
ビジネス美容科	100,000 円	600,000 円	870,000 円	
ビューティ アーティスト科	100,000 円	600,000 円	820,000 円	

修学支援（任意記載事項）

一定の要件を満たす学生に対し、以下の修学支援制度を整備している

(1) 特別指定校生

本校が指定する高校における評定平均、欠席日数等の要件を満たす入学生に対し、入学金を免除する

(2) 入学金免除制度

卒業生の３親等以内の血縁者及び配偶者並びに、本校の後援会会員紹介者に対し、入学金を全額もしくは一部免除する

(3) 学業優秀者給付金制度

欠席日数・総合成績・就学態度等を勘案し、各学科１名に 10 万円、各学科２名に５万円を支給している

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

前年度評価について学校の HP 上に公開している

https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

本校と関係を有しつつも相対的に自立した学校関係者による学校関係者評価委員会に本校教職員による自己点検・自己評価の結果を報告する。これに対する学校関係者から評価を踏まえ、学校運営の具体的な改善策を提案する。

このサイクルを続けることにより、継続的な学校の教育活動及び学校運営の改善に資する。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
東京都立高等学校　教員	令和５年４月 から２年間	教育関係者
東京都立高等学校　教員	令和５年４月 から２年間	教育関係者
埼玉県立高等学校　教員	令和５年４月 から２年間	教育関係者
埼玉県立高等学校　教員	令和５年４月 から２年間	教育関係者

柏市立高等学校 教員	令和５年４月から２年間	教育関係者
東京都美容生活衛生共同組合 役員	令和５年４月から２年間	業界団体役員(兼地域代表)
国際理容協会　役員	令和５年４月から２年間	業界団体役員
ネイルサロン経営	令和５年４月から２年間	会社役員
エステティックサロン経営	令和５年４月から２年間	会社役員

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 前年度評価について学校 HP 上に公開している https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/information/
第三者による学校評価（任意記載事項）
令和３年３月、特定非営利活動法人職業教育評価機構（旧名：私立専門学校等評価研究機構）より令和２年度の学校運営内容について審査を受け、結果について下記 URL のとおり評価を受ける https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/daisansha/

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.riyoubiyou.kokusai-kyouritsu.ac.jp/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113311800037
学校名	国際理容美容専門学校
設置者名	学校法人国際共立学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		59人	55人	59人
内訳	第Ⅰ区分	41人	38人	
	第Ⅱ区分	－	13人	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計			
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
３月以上の停学	0人
年間計	-
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）		0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１		0人	0人
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		－	－
計		－	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。